

# 神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第097号(通算)

令和5年4月7日(金)発行

令和5年度は、本日35名の新入生を迎え、全校生徒数132名で始まりました。今年度も、校長通信『神戈陵を渡る風』をシーズン3として、通算第097号から原則金曜日に発行します。

## 新任式(4月6日) 新任者紹介

### ようこそ川辺高校へ!!



教頭	西 孝典	先生(県教育庁高校教育課より)
国語	有園 瑞代	先生(川薩清修館高校より)
数学	高橋 智亮	先生(与論高校より)
保健体育	福寄 博之	先生(鹿児島女子高校より)
英語	上畑 浩二	先生(奄美高校より)
家庭	森園 礼子	先生(甲南高校より)
事務	岩元 理緒	先生(新規採用)
理科	坪内 俊己	先生(非常勤)

← 写真の前列 岩元・西・有園 後列 森園・上畑・福寄・高橋 (敬称略)

教職員・生徒ともに お待ちしておりました。

これから よろしくお願ひします。

## 令和5年度一学期始業式

校長式辞より抜粋 4月6日(木)

今回は、吉田松陰が松下村塾で門下生に語った言葉の1つを紹介します。

### 「至誠(しせい)を貫きなさい」

至誠とは、日常生活の中でやらなければいけないことを、真剣に本気で、誠意をもってやることです。掃除や、布団を畳んだり、挨拶など、日常にしていることを真剣にやりなさいということで、誰にでも人生の役割が必ずあります。それを分かるためには、至誠(しせい)を貫くこととは、日常の雑務や仕事を本気で真剣に、誠意をもってやるのが大切であると諭しました。

### 「至誠無息」

これは儒教の四書の1つである中庸の中に出てくる言葉で、「しせいおそく」と書き、「しせいやむことなし」と読むそうです。

最高の誠実さが示せるように、怠り休むことなく、自分を磨きなさい、といった意味です。

「至誠」とは、この上ない誠実さ、真心をさし、「息」は休んでいる状態を指します。

今日、誠実であったからよい、ということで済ませるのではなく、終わりは無く、日々、その瞬間瞬間を大切にし誠実であることを貫き、実践しなさいといった教えだと思ひます。

## 第78回入学式

校長式辞より抜粋 4月7日(金)

### 校訓について

充実した高校生活を創造するために、まず本校の目指す人間像を記した校訓「自律・端正・積極・公德」を理解することが大切。

**自律**とは、自分を正しく律するには不断の努力と忍耐が絶えず求められます。また、他人の痛みを自らの痛みと感ずることができ、他人のために尽くす精神を育ててほしいということ。

**端正**とは、凜とした佇まいに努めるということです。いたずらに飾るのではなく、身体と心を鍛練し、真に美しいもの、真実なるものを求めてほしいという願ひがあります。

**積極**とは、何事も拙速に行動せよというわけではありません。ここぞという時に、然るべき判断ができるように、常日頃の鍛練が重要だということであり、これら三つの力を身につけることで、最後の公德に至ります。

**公德**とは、道義心を養い、互いに支え合う優しさを身につけ、正しい判断を行う力を備えること。

これらの校訓を胸に刻み、学校生活を充実させ、心豊かで他人を思いやり、他人と協調できる人になることを期待しています。

# 第78回入学式

校長式辞より抜粋2 4月7日(金)

## 『焦らないこと』

頑張ったのに評価されないと辛いもの  
 しかし焦らないこと、努力を楽しむこと  
 我慢と努力は似て非なるもの  
 我慢する必要はありません  
 しかし、努力する必要はあります  
 いつか、その頑張りが誰かを感動させる  
 私は、いつもあなた方の努力を見ます  
 私以外にも、必ず見ている人がいます  
 是非、楽しんで努力してください

## 写真でみる入学式前の様子



新入生の皆さんを待ち構えている正門横の桜



書道部の作品も展示中



正門を入ってすぐに見える校訓の碑  
石碑の裏には何が書いてあると思いますか？

# 新任式と始業式の様子

## 【新任式】



## 【始業式】

